



がっこう 学校だより



さくらじま

れいわ ねん がつ にち 令和6年5月7日 NO 2

がっこうきょういくもくひょう 【学校教育目標】

みづか まな たか あい
自ら学び、高めあい
よりよく生きようとする
こ 子どもの育成

ねん ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさ 6年 全国学力・学習状況調査

ねん 4・5年 みえスタディ・チェック 4/18(木) もく

ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさ ひとりひとり じどう がくりよく がくしゅうじょうきょう はあく
全国学力・学習状況調査は、一人一人の児童の学力や学習状況を把握・
ぶんせき こんご じどう がくしゅうじょうきょう かいぜん やくだ もくてき
分析することにより、今後の指導や学習状況の改善に役立てることを目的として、
まいとし がつ ねんせい たいしやう じっし くに けん きやういくせさく せいか かだい
毎年4月に6年生を対象に実施しています。また、国や県は、教育施策の成果と課題
けんしやう かいぜん はか しひやう どうやう
を検証し改善を図る指標としています。同様に、みえスタディ・チェックは、4・5
ねんせい たいしやう みえけん じっし がくねん じどう じょうきょう はあく
年生を対象に三重県が実施しており、それぞれの学年の児童の状況を把握し、
がくしゅう つ あ
学習を積み上げていくことができるようにしています。

ふだん たんげん けいしき こと
普段の単元テストとは形式が異なる
な
慣れないスタイルですが、5・6
ねんせい かくきやうか ふんかん ねんせい
年生は各教科45分間ずつ、4年生は
かくきやうか ふんかん しゅうちゆう と
各教科25分間ずつ、集中して取り
組んでいました。



せいとん きれいに整頓

がっこう には、えの ぐ セット、 けんばん 鍵盤ハーモニカ、 しゅうじ 習字セットなど 個人 の 学習 道具 や、
そうじどうぐ や ドッジボール など みんなが 使う 道具 が たくさん あります。それらのものを
ロッカー 等の 限られた スペース に 収納
することになります。今、どの学級も
きれいに整頓 されていて、ろうかも 教室
も とても 気持ちいい です。また、次に 使
う ときに 使い やすく、引 っか かったり 崩
れて きたり する 危険 も あり ませ せん。ず
と 維持 できる よう に して いた い です。



ねんせい むか かい すい 1年生を迎える会 4/24 (水)

入^い学^{がく}してきた^て1^{ねんせい}年生^を全^{ぜん}校^{こう}の^みん^なで^あた^た温^かく^むか^えよう^と、児^じ童^{どう}会^{かい}が「1^{ねんせい}年生^を迎^{むか}え^る会^{かい}」を^じゆ^うが^く実^じ施^しま^した[。]校^{こう}歌^かや^{せん}生^{せい}紹^{しょう}介^{かい}、ク^いズ^など^で桜^{さくら}島^{じま}小^{しょう}学^{がく}校^のこ^とを^紹介^{しょう}し^なが^ら、一^{いっ}緒^{しょ}に^{たの}し^みま^した[。]

1^{ねんせい}年^は、6^{ねんせい}年^生と^て手^をつ^ない^で、代^{だい}表^{ひょう}委^い員^{いん}さん^たち^が作^{つく}る^はな^のア^ーチ^をく^ぐつ^て入^いり^ます[。]一^{ひとり}人^{ひとり}の^なま^えが^紹介^{しょう}さ^れま^した[。]少^{すこ}し^{きん}緊^{ちん}張^{ちやう}した^よう^もあ^りま^した^が、6^{ねんせい}年^生が^{そば}に^いて^くれ^るこ^とが^ころ^づば^いよう^でし^た。



児^じ童^{どう}会^{かい}会^{かい}長^{ちやう}の^{あい}さ^つで^会が^はじ^まり[、]「1^{ねんせい}年^生の^{みな}さん^も早^{はや}く^おぼ^くだ^いね。」と^{こう}か^を2[～]6^{ねん}年^でう^たて^きか^せま^した[。]学^{がく}校^のき^{まり}や^{だう}具^ぐを^〇×^クイ^ズや^二択^クイ^ズに^して^おし^えた^りし^まし^た。ま^た、2^{ねんせい}年^生か^らは^あさ^がお^のた^ねと^{ペン}ダ^{ント}の^{プレ}ゼ^ント^があ^りま^した[。]

6^{ねんせい}年^生は^{まい}あ^さ、1^{ねんせい}年^生の^{きやう}しつ^にて^つた^いに^いっ^てく^れて^いま^すが、2[～]5^{ねんせい}年^生に^とつ^ては、1^{ねんせい}年^生と^のあ^いは^いの^ばと^{なり}、自^じ分^{ぶん}た^ちの^なか^まと^{して}にん^しき^し、な^かよ^くし^てい^こう[、]大^{だい}事^じに^して^いこ^うと^いう^きも^ちが^たか^まつ^たよ^うに^おも^いま^す。

ひにんちのうりよく そだ 非認知能力を育てよう

今^{いま}、鈴^{すず}鹿^か市^しでは^こども^たち^のひ^{にん}ち^のう^りよ^くを^はぐ^くと^りく^みす^す進^{すす}め^てい^ます[。]

「非認知能力」とは、偏^{へん}差^さ値^ちや^{IQ}な^ど数^{すう}値^ちで^{あら}わ^せる^{にん}ち^のう^りよ^くで^はな^く、テ^スト^等では^はか^れな^い目^めに^みえ^にく^い力^{ちから}の^こと^をい^いま^す。非^ひ認^{にん}知^ち能^の力^{りよく}が^たか^い子^こども^は、学^{がく}力^{りよく}や^こう^ふく^ども^たか^いけ^いこ^うに^ある^そう^です[。]ま^た、問^{もん}題^{だい}行^{こう}動^{どう}や^おし^りつ^の低^{てい}減^{げん}な^どとも^{かん}連^{れん}が^ある^と、今^{いま}、注^{ちゆう}目^{もく}さ^れて^いま^す。

鈴^{すず}鹿^か市^しでは、主^{おも}に^{つぎ}次^{つぎ}の^{ひにんちのうりよく}4^{たいせつ}つ^の非^ひ認^{にん}知^ち能^の力^{りよく}を^{たいせつ}大^{たい}切^{せつ}に^しま^す。

- やりぬく力 ⇒ ・あきらめずに頑張れる
- 自制心 ⇒ ・計画的に行動する
・よくないことはがまんする。
- 自己肯定感 ⇒ 自分を大切に思える
⇒ 自分には良いところがあると思える
- 社会性 ⇒ 困っている人を助ける
⇒ 協力して活動する

ひにんちのうりよく あたら とくべつ ちから
非認知能力は「新しく特別な力」とい
うものではありません。これまで日常生活で自然に培われた力ですが、社会の変化に伴い、昔のように自然に身に付けることが難しくなってきたため、非認知能力を高める教育を、学校・家庭・地域で意識的に取り組もうとしています。
学校もねばり強く取り組んでいきます。